



伊達家の宝の一つ「貝合わせ」

先人の夢をつないで
北海道ではめずらしく、
武士が開拓した歴史をもつ伊達。
伊達家につたわる貴重な品々とともに、
新天地を拓いた武士の心が
脈々と受け継がれています。

歴史浪漫



伊達家の家宝や開拓の歴史を今に伝える「伊達市開拓記念館」

左は亙理伊達家の初代当主で伊達政宗の従兄弟にあたる成実が、右は成実の父・実元が着用したとされる甲冑

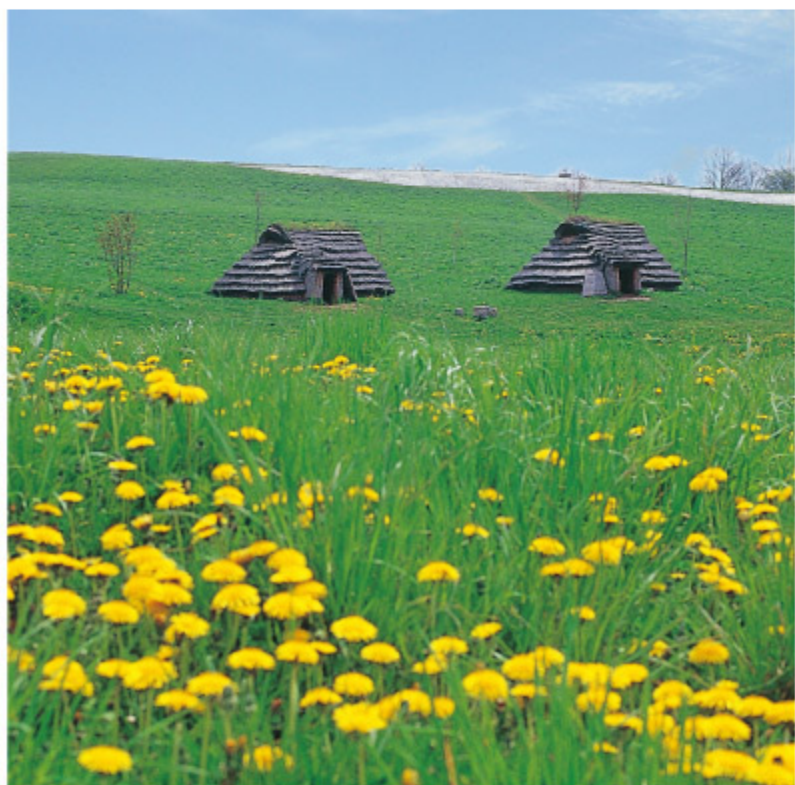


伊達市は明治3年、仙台藩一門・亙理伊達家の集団移住によって開拓されました。亙理伊達家は明治維新の際、官軍に対抗したため領土を著しく減らされたことから、当時の領主・伊達邦成が、この地に夢を託したのです。開拓は私財で行われたため、家宝の多くは資金調達のため売却されましたが、甲冑やオルゴールなどの貴重な品は残され、

武士の心を後世に



オランダより輸入され、日本の様式に作り替えられたオルゴール。機械は1840年頃スイスで作られたと伝えられている



世界遺産の暫定リストにも選ばれた「北黄金貝塚」

伊達市開拓記念館に展示されています。縄文びとも愛した理想郷だて噴火湾(内浦湾)が古代から豊かな海だったことを伝えてくれるのが、国指定史跡「北黄金貝塚公園」です。約6千年前の縄文時代の集落遺跡で、住居跡や水場の祭祀場などがみついています。公園内には貝塚や竪穴式住

縄文びとも愛した理想郷だて



貴重な出土品を展示している「北黄金貝塚情報センター」

居が復元され、「北黄金貝塚情報センター」も設置されています。



桜の名所としても有名な「有珠善光寺」



北海道の有形文化財「釈迦如来大仏」
※釈迦如来大仏や円空作の観音像など、貴重な文化財200点あまりを展示していた「有珠郷土館」は移設工事のため閉館し、平成23年春に「善光寺宝物館」の名で開館する予定です。

有珠善光寺は、文化元年(1804年)、徳川幕府によって「蝦夷三官寺」の一つとして建立されました。本堂は江戸時代の2度の有珠山噴火からも難をのがれ、ほぼ原形をとどめていたことから、昭和49年に善光寺跡として国の史跡に指定されました。

北海道最古の寺もマユノ



「有珠モシリ遺跡」からは、美しく装飾された骨角器などが発見されている



パチラー夫妻記念教会堂



旧三戸部家住宅



迎賓館

「迎賓館」は明治25年に建てられた木造建築。来道した政府高官の応接などに使われました。「旧三戸部家住宅」は、明治5年建築の開拓民家。くぎを一切使わないという仙台地方特有の様式です。黒石造りの「パチラー夫妻記念教会堂」は、キリスト教の布教とアイヌ研究に身を投じた夫妻の功績をたたえ、昭和12年に建てられました。

「コラム」 建築探訪だて